

令和6年度第1回千葉県周産期医療審議会 議事概要

日 時：令和7年3月11日（火）午後6時00分から午後7時10分

方 法：WEB 会議（ZOOM）

出席委員：皆川委員、甲賀委員、大曾根委員、若松委員、加藤委員、小川委員、高島委員、
松本委員、古澤委員、富田委員、五十嵐委員、伊豫委員、増渕委員、志村委員、
白井委員、井上委員、向後委員（19名中18名出席）

事 務 局：鈴木保健医療担当部長
医療整備課 菊地課長、
医療体制整備室 中澤室長、山本

議事（1）会長・副会長の選出

【結論】

委員の互選により、会長には、千葉大学大学院医学研究院、産婦人科学教授、甲賀委員が選出された。副会長には千葉大学医学部附属病院、周産母子センター長、大曾根委員が推薦された。

議事（2）周産期母子医療センター設備・運営要綱等の改訂について

【事務局説明】

資料1－1、1－2、1－3により説明

【結論】

周産期母子医療センター設置・運営要綱等の改正案について承認された。

【意見等】

- ・公認心理士等の配置について、周産期母子医療センターの専属である必要があるかとの質問に対し、センター専属でなくて良いことを回答した。

議事（3）母体搬送ネットワーク連携病院について

【事務局説明】

資料2－1により説明

【国際医療福祉大学成田病院より実績報告】

国際医療福祉大学成田病院、新生児集中治療室部長鹿嶋医師、産婦人科部長、松永医師

から、資料２－３により説明

【結論】

母体搬送ネットワーク連携病院に国際医療福祉大学成田病院を加入することが承認された。

議事（４）その他

１）医療施設等経営強化緊急支援事業について

【事務局説明】

資料３により、国が本年度新たに設置した、「分娩取扱施設支援事業」、「地域連携周産期支援事業（分娩取扱施設）」、「地域連携周産期支援事業（産科施設）」について説明した。

【その他委員からの意見】

・未受診妊婦の救急搬送については、週数の把握が困難であるため、周産期母子医療センターでの受入れが望ましい。現状は、救急搬送時の妊婦の症状により病院を決めている状況であるが、妊婦健診を受けていない状況であれば、第一選択として、周産期母子医療センターへ連絡し、周産期母子医療センターでの受入れが困難な場合は、「妊産婦入院調整業務支援システム」により母体搬送コーディネーターに繋げてほしい。

→既存のシステムを確認するとともに、周産期母子医療センターや母体搬送コーディネーターと検討を進めていくこととなった。